

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために

新しい生活様式

の徹底と継続をお願いします。



新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐためには、今後も長い期間の対策が必要です。そのためには、私たち一人一人がこれまでの日常生活を見直し、上記実践例を参考に「新しい生活様式」を徹底していくことが大切です。



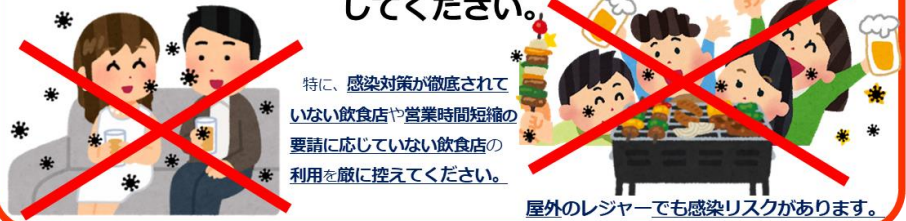
福島県非常事態宣言・福島県まん延防止等重点措置 発出中

—自分自身と大切な人の命を守るために—

新型コロナウイルスの**変異株**が猛威をふるっています！



不要不急の外出は自粛してください。



特に、感染対策が徹底されていない飲食店や営業時間短縮の要請に応じていない飲食店の利用を厳に控えてください。

屋外のレジャーでも感染リスクがあります。

体調が悪い人がいたら、**すぐに受診できる職場環境づくり**を！



飲食は **少人数、短時間、いつも一緒にいる人と!**



医療機関に**早めの相談・受診**をお願いします

発熱などの症状がある場合には **まずは電話でご相談ください。**

かかりつけ医がない場合 → **受診・相談センター(24時間) 0120-567-747**

参考指標等（医療提供体制等の負荷・感染の状況）

令和3年9月8日現在

※カッコ内は福島県の数値

	医療提供体制等の負荷				感染の状況			
	①病床の逼迫具合				②療養者数 (10万人当たり)	③PCR 陽性率 (1週間)	④新規陽性者数 (10万人当たり) /1週間	⑤感染経路 不明割合 (1週間)
	入院医療		重症者用病床					
確保病床の 使用率	入院率	確保病床の 使用率						
ステージⅢ	20%以上 (128/637床以上)	40%以下	20%以上 (10/49床以上)	20人 /10万人以上 (370人以上)	5%以上	15人 /10万人/週以上 (277人以上)	50%以上	
ステージⅣ	50%以上 (319/637床以上)	25%以下	50%以上 (25/49床以上)	30人 /10万人以上 (554人以上)	10%以上	25人 /10万人/週以上 (462人以上)	50%以上	

① 令和3年9月8日現在

本県の現状 (直近1週間) (9/2~9/8)	※2 (44.1%, 281床) 40.3% ($\frac{257\text{床}}{637\text{床}}$)	60.9% ($\frac{257\text{人}}{422\text{人}}$)	22.4% ($\frac{11\text{床}}{49\text{床}}$)	22.86人 (422人)	※1 (9月7日現在) 2.6% ($\frac{306\text{件}}{11,804\text{件}}$)	14.79人 (273人)	※1 (9月7日現在) 28.1% ($\frac{86\text{人}}{306\text{人}}$)
-----------------------------------	--	--	--	----------------------	---	----------------------	--

② 令和3年8月4日現在

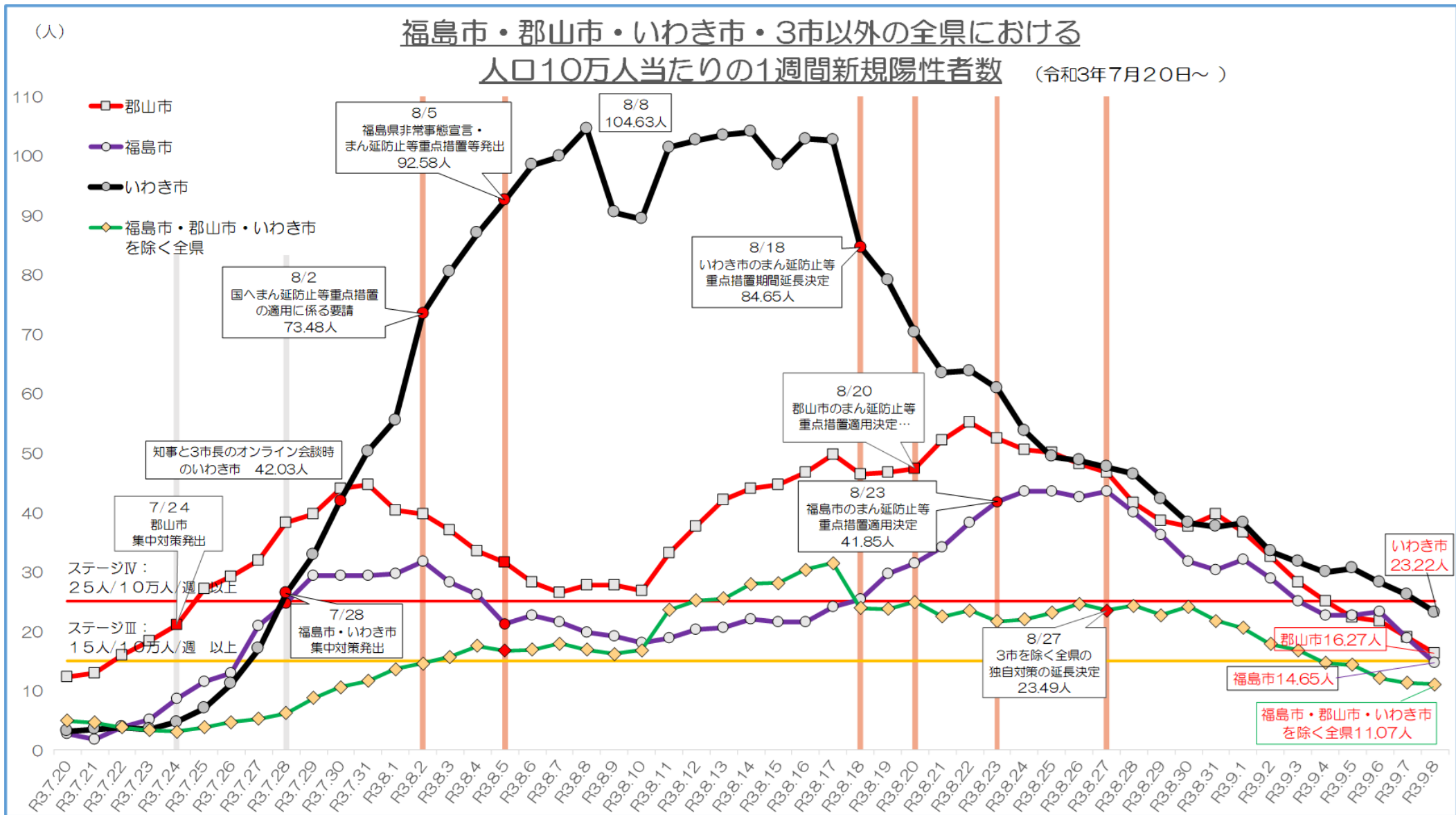
〔非常事態宣言 決定時〕 (7/29~8/4)	※2 (98.8%, 490床) 78.2% ($\frac{388\text{床}}{496\text{床}}$)	46.5% ($\frac{388\text{人}}{835\text{人}}$)	22.4% ($\frac{11\text{床}}{49\text{床}}$)	45.23人 (835人)	5.5% ($\frac{637\text{件}}{11,604\text{件}}$)	34.51人 (637人)	36.7% ($\frac{234\text{人}}{637\text{人}}$)
-----------------------------------	--	--	--	----------------------	--	----------------------	--

③ 令和3年5月27日現在

〔前回の非常事態 宣言解除決定時〕 (5/21~5/27)	49.2% ($\frac{244\text{床}}{496\text{床}}$)	81.9% ($\frac{244\text{人}}{298\text{人}}$)	34.7% ($\frac{17\text{床}}{49\text{床}}$)	16.14人 (298人)	1.0% ($\frac{143\text{件}}{14,385\text{件}}$)	7.75人 (143人)	38.5% ($\frac{55\text{人}}{143\text{人}}$)
---	--	--	--	----------------------	--	---------------------	---

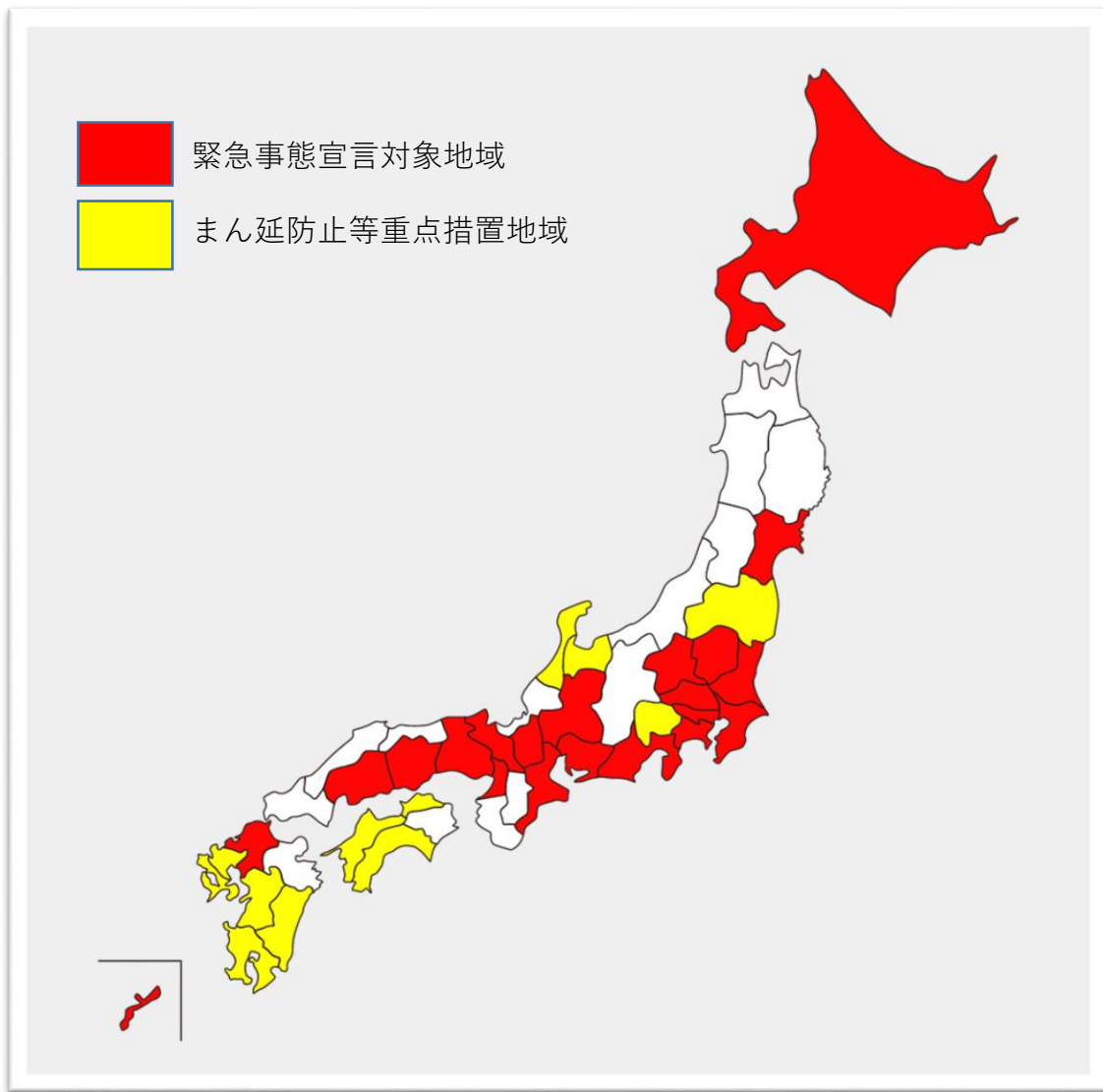
※1 「PCR検査陽性率」及び「感染経路不明割合」は集計中であるため、前日のデータを記載

※2 ()内は、療養先調整中の人数を含めた場合

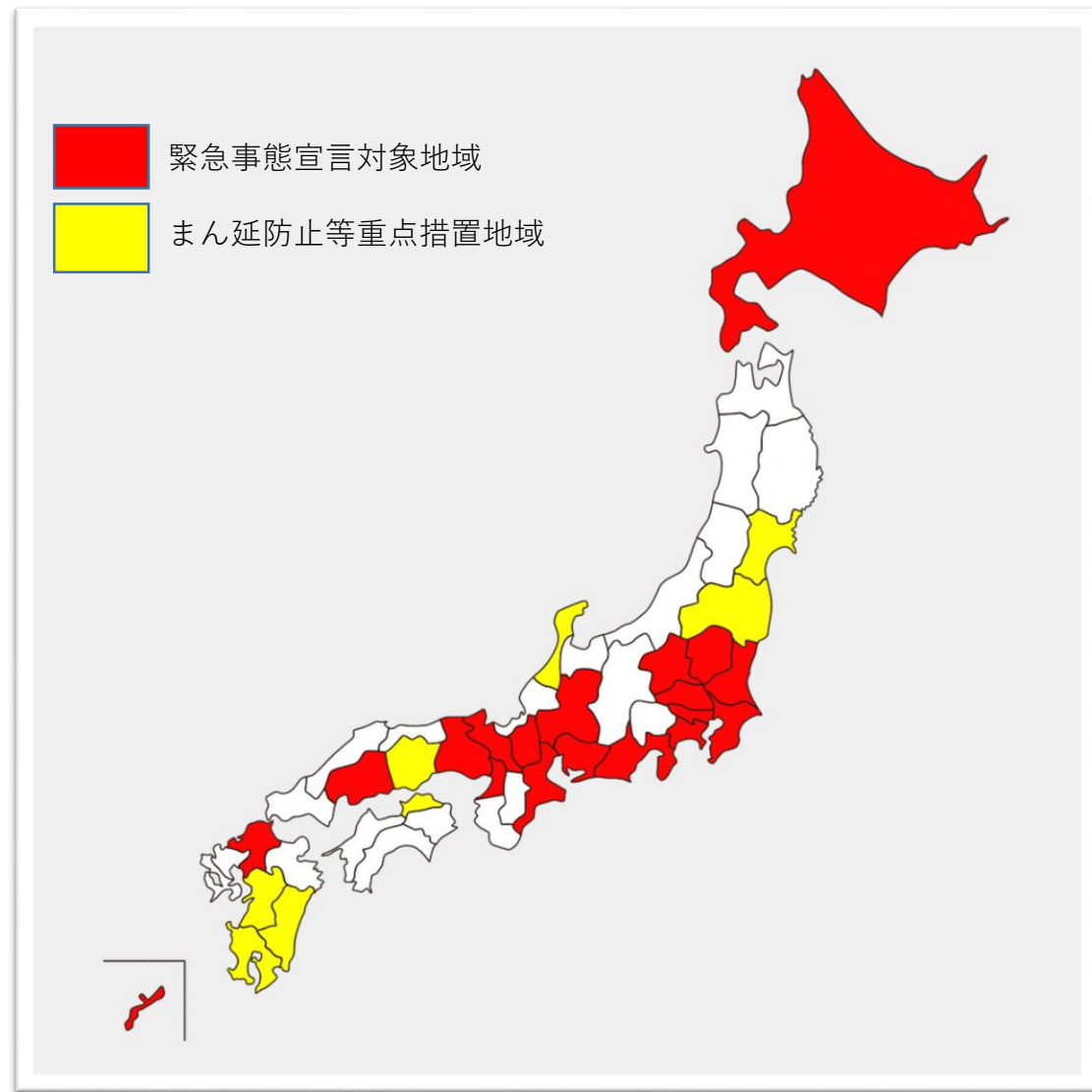


緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置対象地域

本日時点

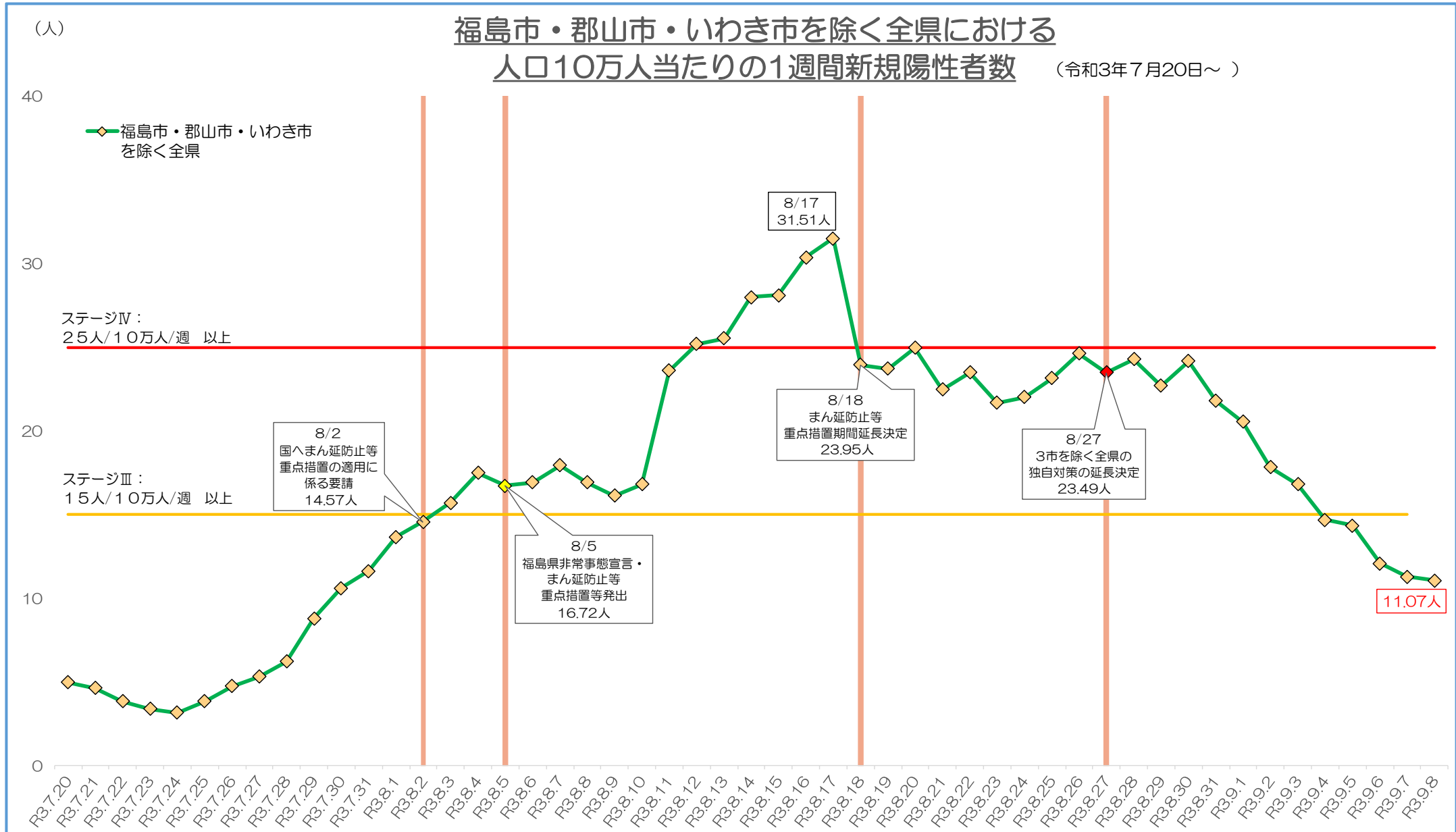


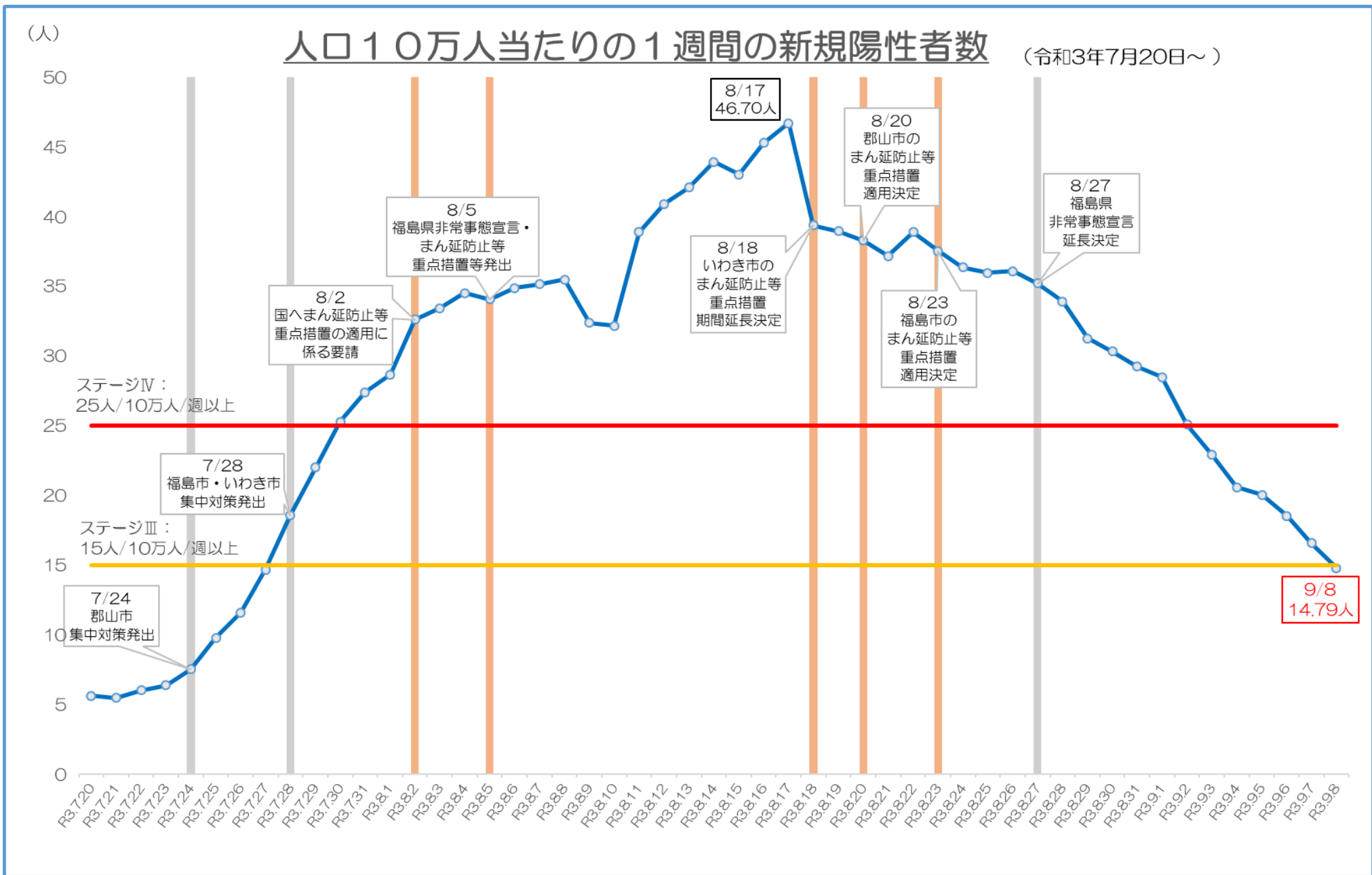
9/13以降（「基本的対処方針分科会」了承）



福島市・郡山市・いわき市を除く全県における 人口10万人当たりの1週間新規陽性者数

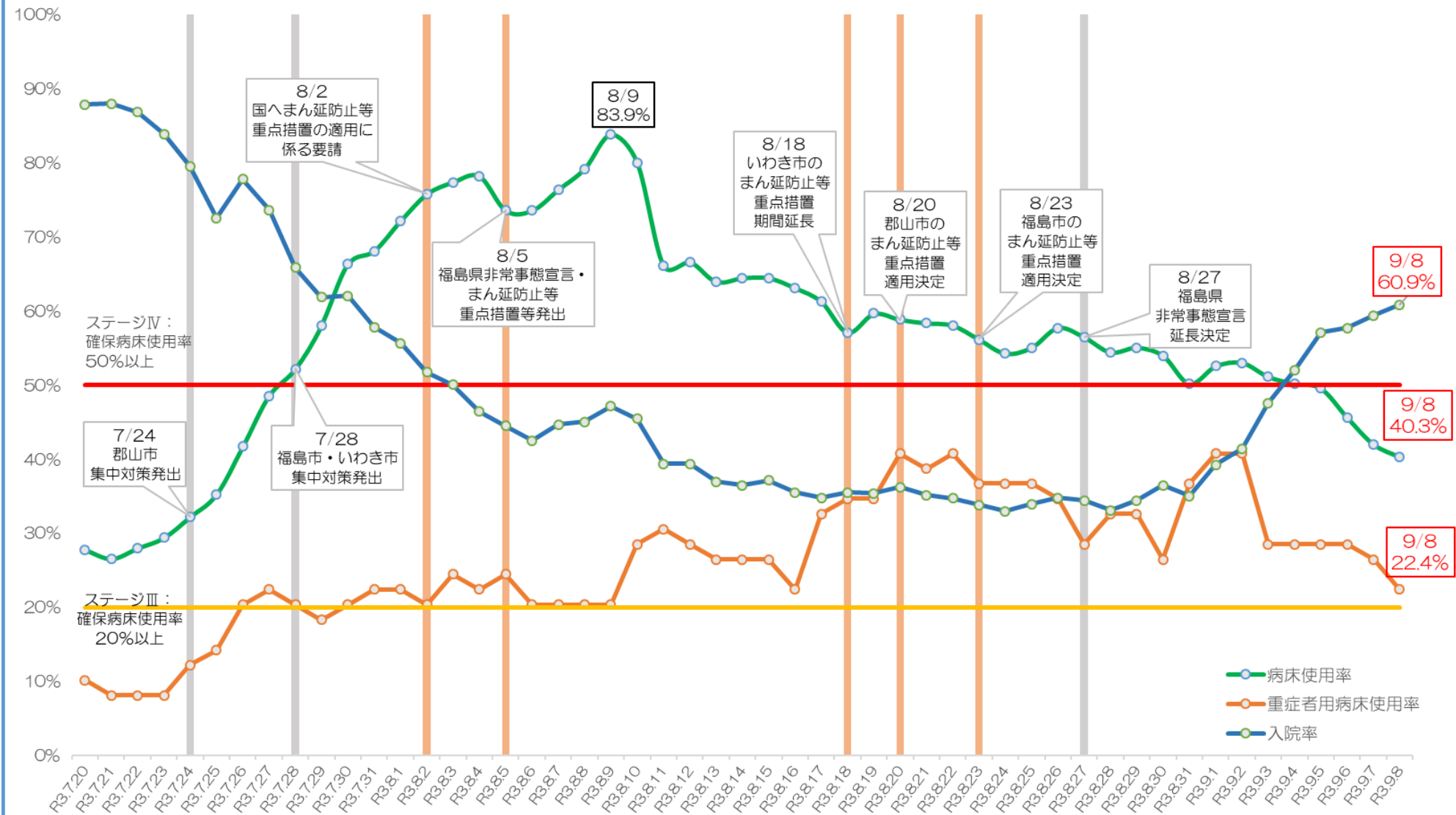
(令和3年7月20日～)

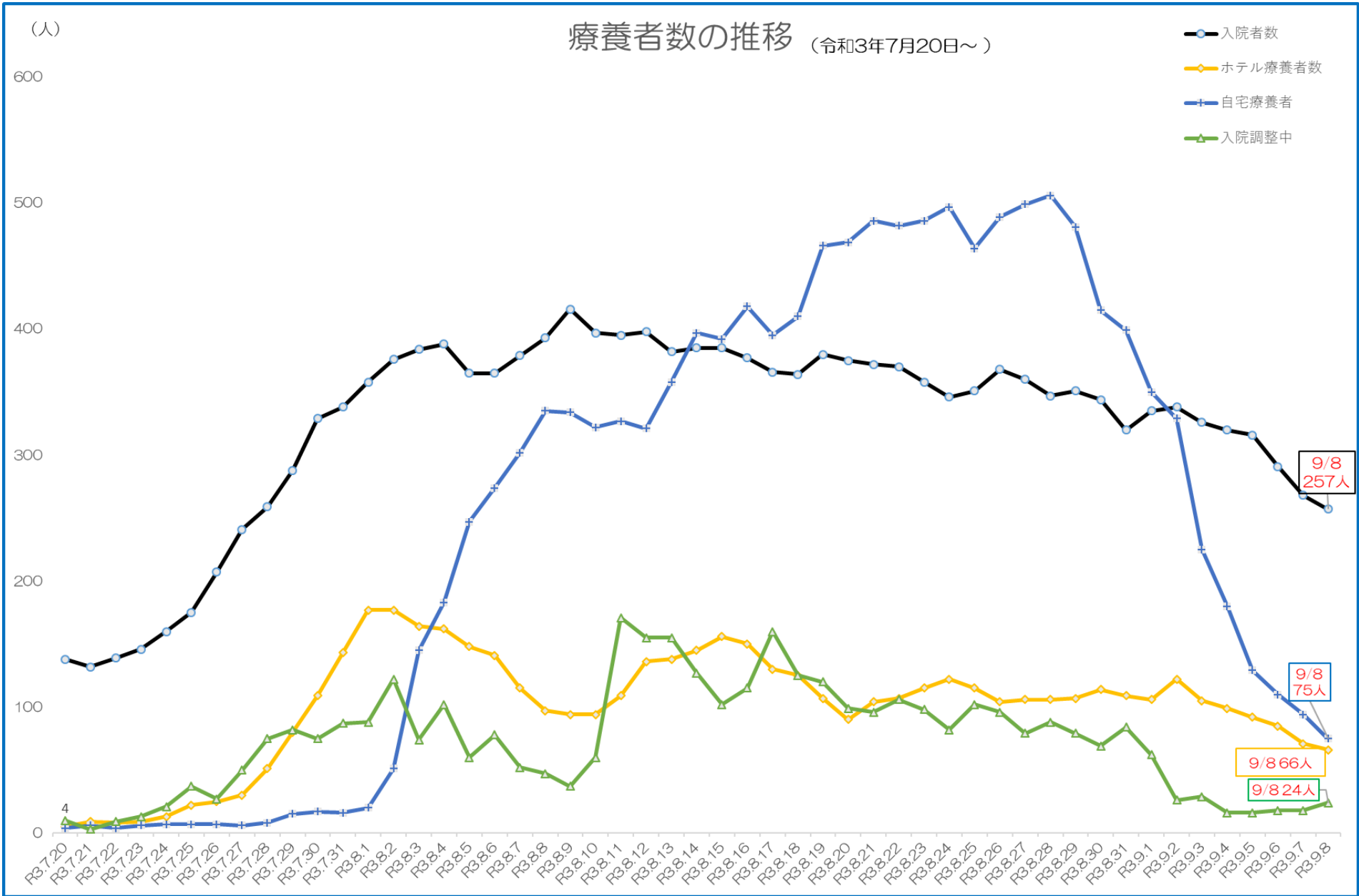




病床使用率、重症者用病床使用率及び入院率

(令和3年7月20日～)

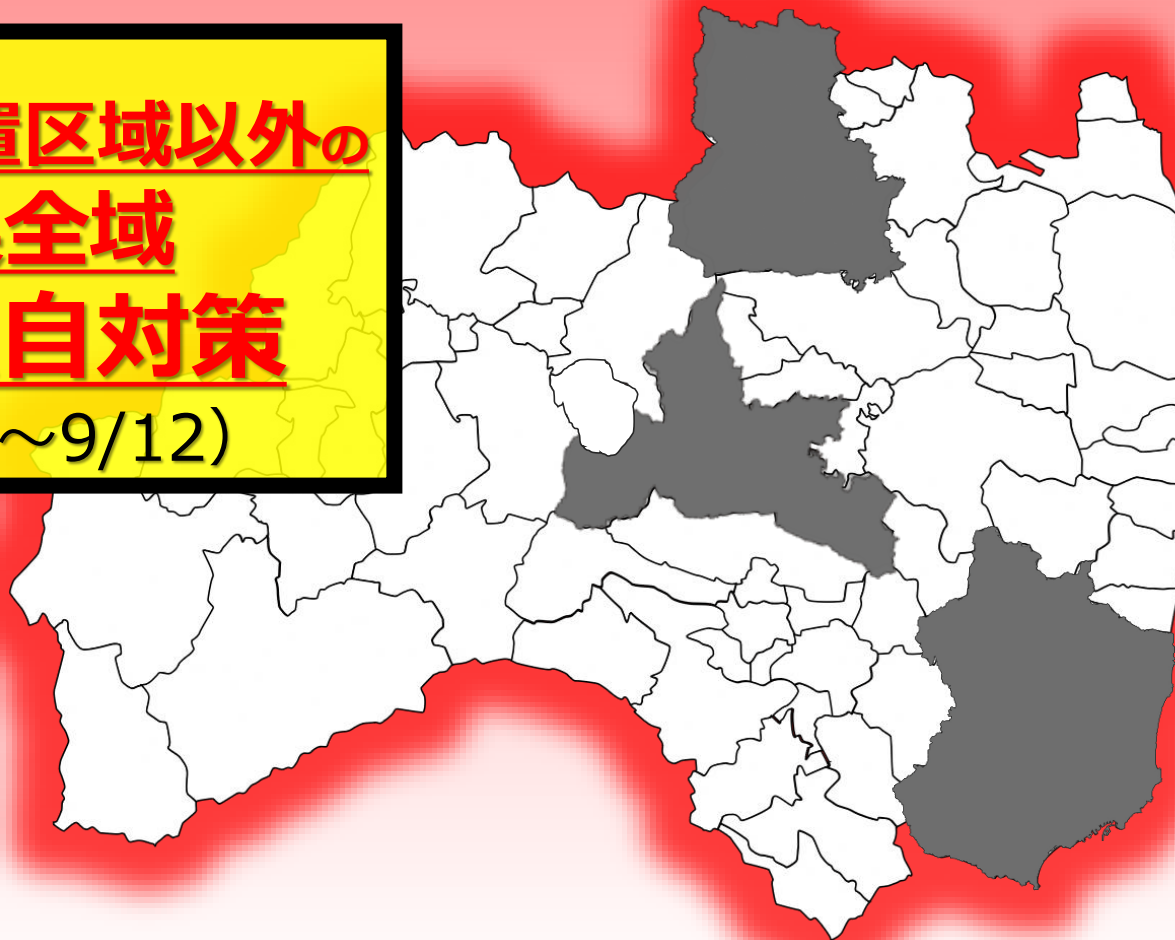




福島県非常事態宣言 及び

県独自対策の期間を延長 (9/12まで)

重点措置区域以外の
県全域
県独自対策
(8/8~9/12)



まん延防止等
重点措置区域
いわき市
(8/8~9/12)
郡山市
(8/23~9/12)
福島市
(8/26~9/12)

福島県まん延防止等重点措置等

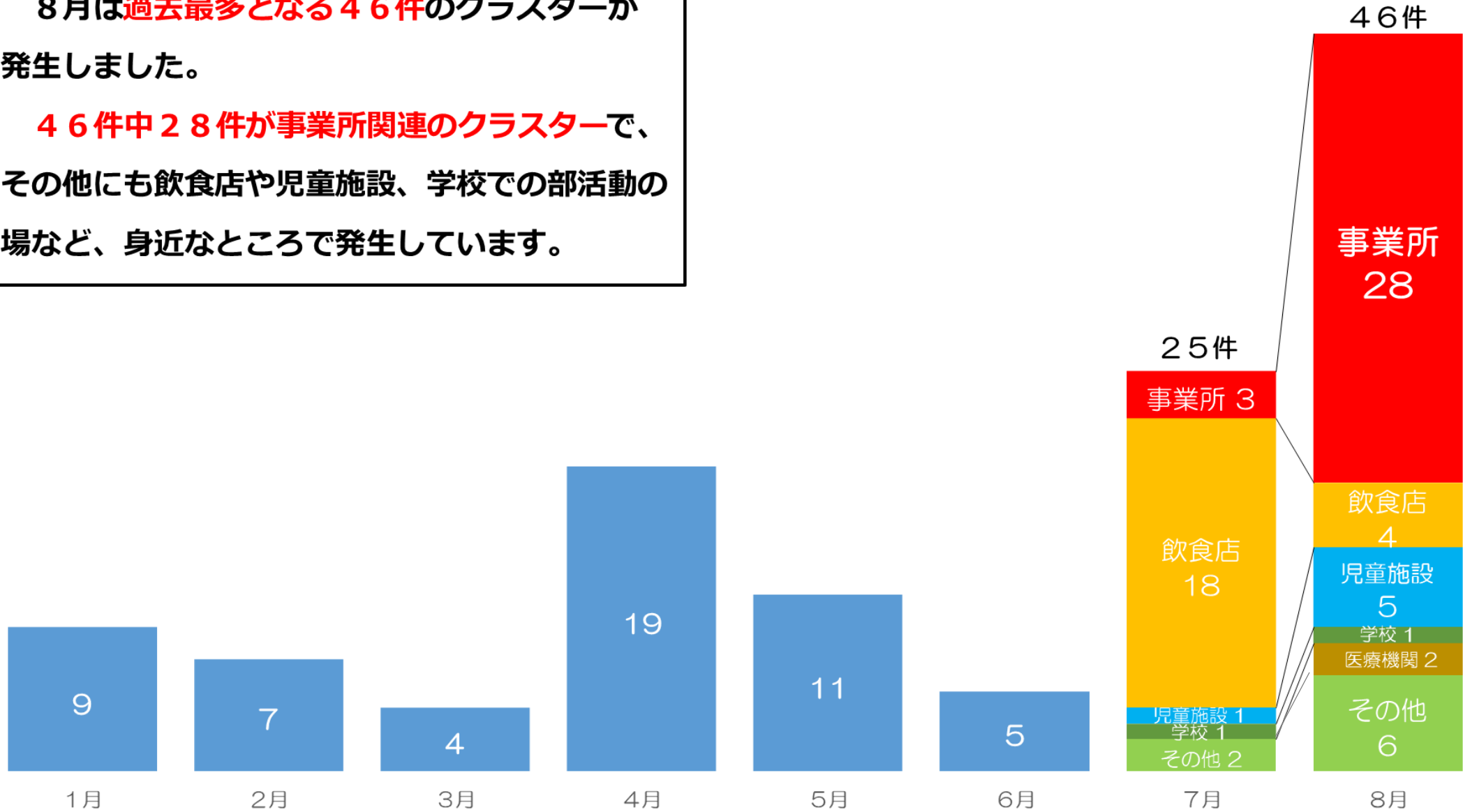
	まん延防止等重点措置			重点措置以外の区域における対応 (県の独自対策)
区域	いわき市	郡山市	福島市	その他の地域
期間	3年8月8日(日) ～9月12日(日)	3年8月23日(月) ～9月12日(日)	3年8月26日(木) ～9月12日(日)	3年8月8日(日)～9月12日(日)
県民向け	<ul style="list-style-type: none"> 不要不急の外出自粛 基本的な感染対策の徹底 			<ul style="list-style-type: none"> 都道府県をまたぐ旅行・帰省等の原則、中止・延期
	<ul style="list-style-type: none"> 夜8時以降、飲食店等にみだりに出入りしない 混雑した場所等へ外出しない 			
飲食店等	<ul style="list-style-type: none"> 営業時間の短縮(営業時間午前5時～午後8時) 【対象】飲食店営業許可を受けた店舗 酒類の提供の自粛(終日) カラオケ設備の利用の自粛(終日) 			<ul style="list-style-type: none"> 営業時間の短縮 (営業時間午前5時～午後8時) 【対象】飲食店営業許可を受けた店舗のうち、接待を伴う飲食店・酒類を提供する飲食店
	<ul style="list-style-type: none"> 営業時間の短縮に応じた場合、協力金を支給 			
飲食店以外	<ul style="list-style-type: none"> 入場者の整理等の対策【大規模商業施設】 営業時間の短縮(営業時間午前5時～午後8時) 【対象】延床面積1,000㎡超の特定大規模施設等 営業時間の短縮に応じた場合、協力金を支給 			

その他の対応	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての事業者……職場内の感染防止対策を徹底してください。ローテーション勤務や時差出勤、テレワーク、オンライン会議等を活用し、人と人の接触機会の低減にご協力ください。 【出勤者数の7割削減を目指す】 (協力金対象事業者以外で、本措置により影響を受けた中小法人等に一時金を支給)
	<ul style="list-style-type: none"> ○大学・専門学校……感染リスクの高い活動(例:感染防止対策が徹底できないサークル活動、大人数での懇親会など)を控えるよう、学生への注意喚起を徹底してください。 ○小・中・高等学校……感染リスクの高い学習活動(部活動での実施を含む)や宿泊を伴う学校行事等の停止、他校との合同練習や練習試合の停止など、感染拡大防止対策を徹底してください。 ○医療機関、高齢者・障がい(児)者施設……感染防止対策に見落としがないか、改めて確認してください。

○8月のクラスター発生状況

8月は過去最多となる46件のクラスターが発生しました。

46件中28件が事業所関連のクラスターで、その他にも飲食店や児童施設、学校での部活動の場など、身近なところで発生しています。



最近確認されている事業所関連の感染事例

8月に発生した集団感染クラスター46件のうち、28件が事業所関連です！

★【事業所及び職員宿舎での感染拡大事例】

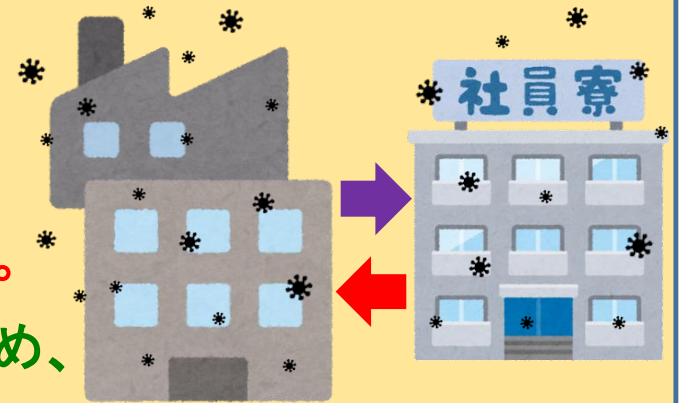
事業所内と職員宿舎の両方で感染が拡大し、職員の家族を含めて数十人規模で感染が拡大し、大規模クラスターとなった。

発生の
影 響

感染拡大を止めるため、事業所の業務を一定期間停止した。

注意する
ポイント

変異ウイルス(デルタ株)の影響により感染スピードが早いため、なお一層の早期受診と感染対策の徹底が必要。



★【職員宿舎の共同生活の場での感染拡大事例】

事業所内では感染対策を行っていたが、職員宿舎で感染が広がった。宿舎はそれぞれ個室だったが、共同の台所で一緒に食事をしたり、一つの部屋に複数人が集まったりして感染が広がった。

発生の
影 響

事業所の多数の職員に感染が拡大し、業務に支障が生じた。

注意する
ポイント

職員宿舎における基本的な感染防止対策(手洗い・消毒・共有設備、共有備品の定期消毒、会話時のマスク着用など)の徹底が必要。



最近確認されている事業所関連の感染事例

★【会議やその後の会食による感染影響事例】

事業所の本所が県内各支所の職員を参集した会議を開催した。会議後に行われた会食の参加者1名に感染が確認され、同席者全員が濃厚接触者となった。

発生の
影響

さらなる感染者は出なかったものの、本所・支所の職員多数が検査と自宅待機の対象となり、業務に支障が生じた。

注意する
ポイント

オンライン会議の活用や、大人数・長時間の会食の自粛など、人と人との接触機会の低減を図ることが必要。

令和3年度
〇〇事業所
総会



★【感染対策不足による感染拡大事例】

風邪のような症状があってもかかわらず職員が出勤し、職場内でのマスク無しの会話や昼食を共にするなど基本的な感染対策を怠った結果、事業所内で感染が拡大した。

発生の
影響

事業所の複数の職員に感染が拡大し、業務に支障が生じた。

注意する
ポイント

出勤前の検温確認など事業主が職員の健康管理を行うとともに、体調の悪い職員がいる場合には早期受診を促すことが必要。



若い世代の感染者が増えています！

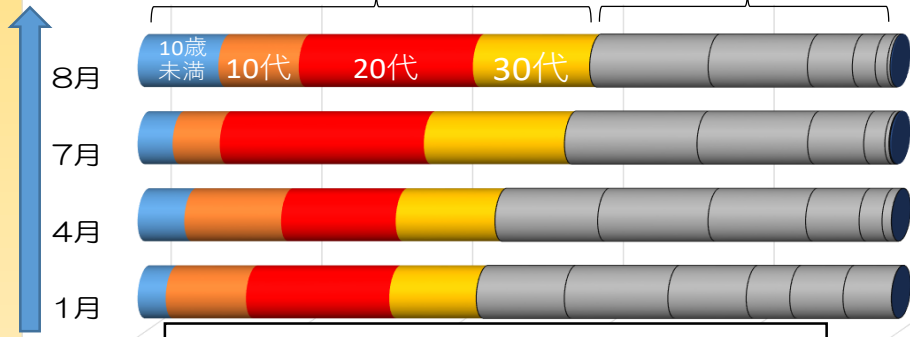
若い自分には
関係ない

「その思い込み、危険です」

感染しても
症状は軽いはず

年齢別陽性者割合

30代以下 40代以上



若い世代の感染割合が増加

○若い世代の感染者が増加しています

- 例えば、8月の30代以下の感染割合は、全世代の60%を占めています

○症状が軽くても人に感染します

- 家族（高齢者等）に感染するなど、軽・無症状でも感染力があります

○若い世代の重症例も確認されています

- 基礎疾患がなくても、重症化する場合があります

「うつらない」「うつさない」基本的感染対策の徹底をお願いします

不要不急の外出自粛や、マスク着用などの基本的対策、症状がある場合には早めに受診するなど、ご自身と周囲の方を守るための行動をお願いします



今、最大の危機を乗り越えるために

1 旅行・帰省等は、
原則、中止・延期してください。

- 人流の抑制に御協力をお願いします。



2 会話するときは、
マスクの着用と距離の確保をお願いします。

- 熱中症予防と感染防止対策の両立をお願いします。



3 飲食は、
家族など、いつも一緒にいる人としてください。

ワクチン接種後も、「うつさない」
「うつらない」行動をお願いします。

- ワクチン接種後でも、感染し発症の可能性があります。
マスク着用など、感染対策を徹底しましょう。



非常事態宣言発出中！医療崩壊を防ぐためのお願い

令和3年8月12日 福島県新型コロナウイルス感染症対策本部

急激な感染拡大に伴い、確保病床が満床に近づくとともに、入院治療が必要な方がすぐに入院できない状況となってきました。

一般の医療では、緊急性が低いと判断された手術の延期や外来診療の縮小などの影響が出てきており、

救命救急活動にも支障が出ています。

御自身と大切な方の命を守るため、 **お一人お一人が**感染防止対策、
慎重な行動の徹底をお願いします。





変異株とクラスターに注意

○ **急速に感染力の強い変異株へ置き換わり**
(デルタ株の主要変異 (L452R) が約8割)

○ **様々な場面でクラスターが発生**

⇒ **感染防止対策の徹底**
場面や場所の切り替わり時には特に注意を！

【最近のクラスター発生案件】

-  接待を伴う飲食店等
-  学校や児童施設等
-  部活動や合同練習、
子供会等
-  医療機関等

ふくしま飲食店応援事業

●事業目的

- コロナ対策を適切に実施する飲食店(認定店)にインセンティブを設け、認定制度の拡大を促進。
- 飲食店(認定店)の利用を促進し、飲食需要の喚起による地域経済の活性化を実現。

●展開のポイント



「ふくしま感染防止対策認定店制度の普及拡大」
「飲食需要の喚起による地域経済の活性化」

「認定飲食店応援 プレミアム付き電子商品券事業」

●方向性

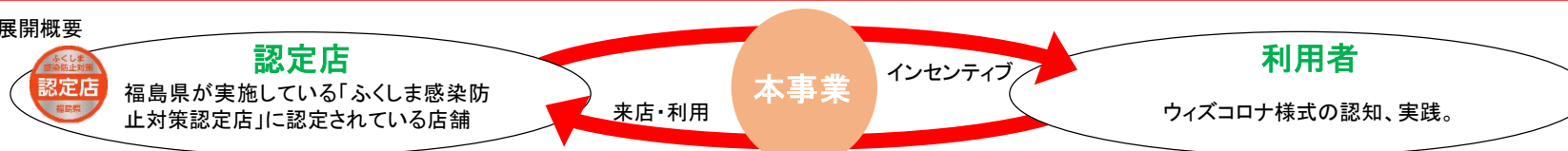
コロナ対策を徹底する「認定店」で「安心」「オトク」に飲食を楽しみ、
新たなライフスタイルを定着させながら地域経済を活性化

●コンセプト

ウィズコロナに基づいた地域経済活性化の実現

- 新しい生活様式を認定店を中心に県民の皆様への定着を図り、利用者される方にインセンティブを付与して利用促進
- コロナ禍で苦境に立つ地域経済を県民一丸となって活性化

●展開概要



●事業効果

認定店への支援効果 + 取引先等への波及効果